

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより 校訓「やさしく かしく たくましく」



# 元気・笑顔・成長！南小

Ver.2.0

第10号 令和6年7月19日発行 発行者 校長 田口広治

児童数 172  
PTA数 127

## 充実した夏休みにしましょう！



■明日から39日間の夏休みです。終業式の中で、充実した夏休み、楽しい夏休みとなるように、次の3つのポイントを話しました。

相良南小学校HP ↑

1つ目は、「元気」に過ごすことです。早寝早起き、何でも食べる運動や遊びなどで、健康を考えた生活をするのが大切です。1学期に行った健康アンケートで、「朝、自分で起きていますか」の項目が「51点」でした。ぜひ自分で起きるようにしてほしいと思います。

2つ目は、「笑顔」で過ごすことです。そのためには、まずは事故にあわないことが大切です。また、誰とでも仲良く過ごすことです。家族や友達と笑顔で過ごしましょう。

3つ目は、「成長」です。あちこちに行ったり、様々な体験をしたりすることが成長につながります。夏休みだからできることをやってほしいと思います。また、工作や観察、自由研究、調べ学習など時間をかけてやることを、計画的にやってほしいと思います。

■夏休みの最初のうちは、規則正しい生活や計画を実行することができても、次第にだらだらした生活になることがあります。結局、最後に宿題に追われるなどもあります。

充実した夏休みを送るためには、ご家庭での協力が必要です。ポイントは、「一緒にやる」ことでしょう。「一緒に早寝早起き」「一緒に朝ご飯を食べる」「一緒に笑顔で過ごす」「一緒に体験する」「一緒に観察する」などなど。もちろん、「自立」のためには、自分でさせることが大切です。しかし、「一緒にやる」ことで、子供たちの心に残ったり、その後の自立につながったりしていきます。「一緒にやる」を実践されてみてください。

8月28日（水）の2学期の始業式に、元気に笑顔で、成長した姿で登校してくれることを楽しみにしています。

## ベレニス先生 ありがとうございます！

■ALTのベレニス先生が退任されました。

相良村にいられて5年間、子供たちの英語教育に尽力されました。

英語の力は、国際化の社会の中で必須の力です。そのためには子供の時から英語に触れ、慣れ親しむことがとても大切です。

ベレニス先生は、楽しく、優しく、英語を教えてくださいました。子供たちも英語でのコミュニケーションを楽しんでいました。

本当にありがとうございました。



# 150周年記念 子供たちも頑張ります！

■150周年記念の取組を子供たちも実行してくれています。

1学期は「感謝プロジェクト」として、普段なかなか手が届かない場所をきれいにしてくれました。遊具や体育倉庫、図書室や窓ふきなどをやってくれました。

さらに、取組についてのアイデア募集がなされていました。それをもとに、先日の代表委員会で、第2弾の取組が話し合われました。

結果、次の3つのことが決まりました。

「150周年記念の歌をつくる」 「学級毎に学校の絵をかく」  
「記念誌に一人一人のメッセージをのせる」

保護者の皆様には、実行委員会や部会での話し合い、具体的な動きなど本当にお世話になっています。子供たちも、自分たちでできることをやっいていこうとしていることが嬉しいです。地域の方からも協力したいとの声をたくさん聞いています。さらに、みんなで盛り上げていきましょう。

## 小中合同研修会 村全体で学びました！

■7月8日（月）は、村内の小中合同研修会でした。今年度、相良村の教育アドバイザーになられた椿原正和先生（以前、本校に勤務されていました）を講師に、全教師で学びました。

最初に、本校の全学級の授業を参観していただきました。「国語」「算数」「自立活動」などの授業です。子供たちが、音読したり対話をしたり、考えたり問題を解いたりする様子がありました。「学びに向かう姿勢がいい」との話をいただきました。

その後、椿原先生には、3年生に「夕日がせなかをおしてくる」の授業をしていただきました。最初はかなり緊張していた子供たちですが、褒められたり丸をもらったりする中で音読や発表の声がどんどん大きくなりました。大人も一緒に悩む場面もあり、楽しく学習が進みました。たくさん手が挙がるようになり、子供たちから素晴らしい意見が出るようになりました。授業後には、子供たちから「楽しかった！」の声が出ていました。

授業後の講演会で、さらに学びを深めました。今後の授業づくりに生かしていきます。



